



日米安全保障協議委員会(「2+2」閣僚会合)

Contents

- 歴史に残る外交成果を次々に上げていく岸田文雄外務大臣の外交姿勢とは
- 宏池会研修会 & 事務所移転
- 数字で見る岸田外交②

数字で見る岸田外交②

12月26日に第二次安倍内閣が発足して一年が経ちます。

この間、岸田文雄外務大臣は訪問した国と地域がのべ26カ所となり、移動距離も飛行機の距離だけで325,972Kmとなりました。海外滞在日数も39泊74日となりました。もう2ヶ月半ぐらいは海外にいる計算です。ちなみに泊数が少ないのは、例えば日本の夜に出发し現地に着くと朝の時間という場合には泊数に含まれないためです。しかしこの場合でも岸田外務大臣はそのまま現地時間の朝からの日程をこなします。日本時間の朝に成田空港に帰国し、そのまま国会に直行して国会答弁をこなした、なんていう日もありました。ある意味、時差や睡眠時間との戦いであり、体力維持や体調管理も外務大臣としての大切な仕事だと言えるでしょう。

また電話会談も計39回にもなりました。中でもアメリカのケリー国務長官との電話会談が一番多いですが、これまでインドネシアやメキシコ、アルジェリアやノルウェーなど、電話ですから国や地域を問わず、必要に応じて即時電話会談でもって意思の疎通を図っております。

外交とは人と人の人間関係によって計られる場面も多々ありますので、直接訪問でも電話会談でも積極的にコミュニケーションをとり、岸田文雄外務大臣は日本の外交を展開しています。

これまでの海外への移動が
月を目的地としていたら……



月までの残り距離
58,428Km

外務大臣に就任してからの
総移動距離 約325,972Km

外国出張回数 14回

外国出張日数 39泊74日

訪問した国と地域 のべ26カ所

国内出張回数 9回

外国政府及び国際機関要人
等との会談件数 200件以上

地球から月までの距離
約384,400Km

外務省フェイスブックより <https://www.facebook.com/Mofa.Japan>

岸田文雄です。

今朝7時半からケリー米国務長官と電話会談を行いました。ちょっと早い時間ですが、時差の関係で、日米電話会談はいつも早朝あるいは深夜になります。

ケリー長官とは、10月3日の日米2+2、その翌日からのインドネシアでのAPEC閣僚会合の際に日米豪閣僚級戦略対話などで会談して以来ですから、約1ヶ月半ぶりの会談となりました。

今回は、ケネディ大使の着任、先般の私のイラン訪問を含めイランの核問題などについて議論しました。同盟国である日米の外相が、地域、国際社会の課題について頻繁に意見交換し、立場のすりあわせをしていくことは大切だと思います。

ケリー長官とは、「フミオ」、「ジョン」と呼び合う関係ですが、今後も頻繁に意見交換していこうということで一致しています。



岸田文雄後援会事務所

●国会事務所

〒100-8982 東京都千代田区永田町2-2-1
衆議院第一議員会館1222号室
TEL (03) 3508-7279 (直通) FAX (03) 3591-3118

●広島事務所

〒730-0013 広島市中区八丁堀6-3
和光八丁堀ビル9階
TEL (082) 228-2411 (代表) FAX (082) 223-7161

●岸田文雄ホームページ

<http://www.kishida.gr.jp/>

ケータイ用サイトQRコード



岸田文雄プロフィール

昭和32年生まれ。早稲田大学法学部卒業後、㈱日本長期信用銀行等を経て、平成5年の衆議院議員総選挙において初当選。以後7回連続当選中。

自民党青年局長・商工部会長・経理局長、建設政務次官・文部科学副大臣、衆議院厚生労働委員長などを歴任後、平成19年の第一次安倍改造内閣において内閣府特命担当大臣(沖縄担当など)で初入閣。初代消費者行政推進担当大臣として消費者庁新設の土台を作る。

平成23～24年にかけて野党自民党において国会対策委員長として指揮をとり、与党に対して厳しい国会追及を行い、解散に追い込む。

また24年には保守本流の政策集団である「宏池会」の会長に就任する。

平成24年の衆議院総選挙後に発足した第二次安倍内閣において外務大臣として入閣し、世界を舞台に奮闘中。

岸田文雄の Let's Tune! 76.6FM
Heartful Station
ハートフルさろん

■放送：毎週木曜日午後4時30分から
(再放送：毎週日曜日午後5時から5時30分)
■FMちゅーびー FM76.6MHz

好評
放送中

〒730-0013 広島市中区八丁堀六-三 和光八丁堀ビル九階
自由民主党広島県第一選挙区支部翔編集室
季刊「翔」五十七号 発行平成二十五年十二月十六日



マカリー・NZ外相とのラグビー制戦に
おけるユニフォーム交換



ASEM外相会合



ASEM外相会合での一幕



▲V 4 (チェコ・スロバキア・ポーランド・ハンガリー)
+日本、外相会談



衆議院NSC特別委員会



日・北政パブリック&カ国外相会合



インド デリーメトロ視察



APEC閣僚会議



イラン ローハニ・イラン大統領表敬



日米2+2共同記者会見



武器貿易条約ハイレベル会合(国連)



五輪招致の記者会見



海外日系人大会レセプション



紛争下の性的暴力防止に関する
サイドイベント(国連)



日露2+2



東京五輪招致成功後、政府専用機で帰国

2020年東京オリンピック招致

核兵器の非人道性に関する共同声明署名

史上初の日露外務・防衛閣僚協議(2+2)開催...

歴史に残る外交成果を次々に上げていく 岸田文雄外務大臣の外交姿勢とは

十二月二十六日に第二次安倍内閣が発足して一年が経とうとしていますが、その間外務大臣として岸田文雄代議士は、2020年東京オリンピック招致や核兵器の非人道性に関する共同声明署名、史上初の日露外務・防衛閣僚協議(2+2)開催など、数々の歴史に残る外交成果を上げ続けています。

これらはひとえに岸田文雄外務大臣の、積極的な外国訪問などを通じた当事者とのコミュニケーションを重要視していた姿勢に尽きます。東京オリンピック招致や核兵器の非人道性に関する共同声明署名などはまさにその象徴で、オリンピックではIOC委員などに、核兵器の非人道性に関する共同声明署名はその関係各国の担当者などに、直接対話をもって粘り強く交渉した結果として、その成果が現れたと言えるでしょう。

また十一月にはイランへ赴き、大統領と外務大臣に直接



NPD外相会談(国連)

会って核問題など様々な課題を議論しています。その結果、ジュネーブでのイランとEU3+3の核問題に関する合意にもつながったように、岸田外務大臣の粘り強い交渉が功を奏したと言えるでしょう。

先日、日・ASEAN友好四十周年の節目の年を記念して東京で日・ASEAN特別首脳会談が開かれ、ASEAN各国の首脳が日本に集まりました。岸田外務大臣の最初の外遊先がフィリピンやシンガポール・ブルネイだったこともあり、岸田外務大臣は今後の日本とASEAN諸国とのさらなる関係発展に注力しています。これからのASEAN

との関係において、岸田外務大臣の果たす役割は大きいでしょう。日本はいま元氣になりつつあります。いわゆるアベノミクスは今や全世界に知れ渡り、二国間外相会談の場だけでなく、国際会議での場においても高い関心をもってこれを尋ねられます。日本の「積極的平和主義」という外交政策は多くの国々から歓迎、支持されています。五十六年ぶりの東京オリンピック開催も決定しました。世界中から注目を集めるキャロライン・ケネディ米国大使は、他のどの国でもなく日本の大使として赴任しました。こうした日本の元氣をより確かなものにしなければなりません。

広島選出の議員として、日本の外務大臣として、岸田文雄外務大臣はその期待以上の活躍を続けています。



ケネディ新駐日米国大使と

政策集団「宏池会」研修会&事務所移転

岸田文雄代議士が会長を務めている政策集団「宏池会」は、9月に1泊2日の研修会を行い、東北大学公共政策大学院の大西 仁教授をお招きして講演を賜り、パネルディスカッションを行いました。

また、10月には長年親しんできた事務所が再開発のため建物ごと取り壊されることとなり、新たな事務所に移転しました。

